

資料提供  
令和4年6月1日  
課名 新型コロナウイルス感染症対策担当  
(感染症・疾病管理センター)  
担当者 西川  
電話(直通) 082-513-3068  
(内線) 3068

## 腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について

令和4年5月24日、医療機関から県西部保健所管内の保健所に、腸管出血性大腸菌感染症（026（VT1+））患者1名の届出がありました。

また、同保健所による調査において、当該患者が通う学校の他の生徒12名からも、026（VT1+）が検出され、県立総合技術研究所保健環境センターで遺伝子解析を実施した結果、本日、この13名から検出された菌は同一である可能性が高いことが判明しました。

現在、接触者に対する健康調査（検便）や衛生指導等を実施し、感染拡大防止を図っています。

腸管出血性大腸菌感染症は、夏季に多く発生するため、報道機関の皆様には、感染予防策について啓発していただくようお願いいたします。

### 1 発生状況（6月1日時点）

- (1) 施設種別 西部保健所管内の学校の寮
- (2) 関係者数 113名（全て寮生）
- (3) 患者数 13名
- (4) 症状 無症状～腹痛、下痢（重症者・入院者なし）

### 2 参考

#### (1) 県内の発生状況（過去5年）

年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
届出数	38	53	67	101	15*

※令和4年は5月31日現在

※本事例の13名を含む

#### (2) 腸管出血性大腸菌感染症の予防策等

- 菌に汚染された食品の喫食や、患者の便・菌のついたものに触れた後、手洗いを十分に行わなかった場合等に、感染します。
- 食事前やトイレの後、排泄の介助やオムツ交換等を行った後には、その都度、石鹸と流水による手洗いをきちんと行うことが重要です。
- 下痢等の症状がある時は、シャワーやかけ湯にしましょう。
- 若齢者、高齢者、抵抗力が弱い方は、重症化することがあるため、生肉や加熱不十分な肉料理を食べないようにしましょう。また、焼肉などでは、生肉に触れる箸やトングと食べる箸を使い分けましょう。

#### お願い

報道機関各位におかれましては、感染者及び感染者家族等について、本人等が特定されることのないよう、格段の御配慮をお願いいたします。